

学校教育目標	○たくましく、自らの生き方を創り出す力を育みます(知・体)				
	○いのちを大切にできる心と、社会の一員としての自覚を育みます(徳・公)				
	○伝統を大切に、活気ある学校をつくります(開)				
学校概要	創立 74 周年	学校長 村上 博史	副校長 新島 隆	2 学期制	一般学級: 21 個別支援学級: 5
	児童生徒数: 851 人	主な関係校: 文庫小、金沢小、八景小、釜利谷東小、能見台南小			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	金沢中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> <問題発見・解決能力> <持続可能な社会の創造に貢献する力>	金沢中 文庫小 金沢小 八景小 釜利谷東小	○「コミュニケーション能力」と「課題解決のために協力する力」の育成 ○他人を思いやり、地域社会に貢献できる児童生徒の育成 ----- ・合同授業研究会や児童生徒指導上の意見交換 ・行事等を通じた児童生徒の交流 ・部活動交流や小学校行事等の応援

中期取組目標	チーム金沢として全職員で活力と魅力のある学校づくりを目指します ○自他の生命を尊重し、思いやりのある、健康で安全な生活を築ける生徒を育てます。 ○不屈不撓の身と心、生徒が自ら困難を乗り越える力をつけることができるよう育てます。 ○「コミュニケーション力」と「課題達成のために協働する力」を育てます。 ○保護者や地域、関係諸機関との連携を深め、信頼される学校づくりを推進します。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>生きてはたらく知</b> 担当 学習指導部	①校内授業研や小中一貫教育推進ブロック授業研において積極的に授業公開する。 ②生徒が「主体的に取り組む授業」「わかる授業」「ICTを活用した授業」を目指す。 ③学期末に生徒による授業評価を実施し、集計結果をもとにしながら授業改善を行う。
<b>豊かな心</b> 担当 道徳・人権担当	①子ども会議のテーマを基に人権について話し合うと共に、「金沢中人権標語」を作成する。 ②校内で気持ちのよい挨拶ができるよう、生徒会を中心に週1回の「金沢中挨拶運動」を推進する。 ③「いのちを大切にできる心」「互いの思いを尊重する心」を醸成し社会の一員としての自覚を高める。
<b>健やかな体</b> 担当 保健指導部	①体力向上に向け、教科・部活動を通して、生徒一人ひとりが課題に取り組む態度を育てる。 ②基本的な生活習慣の定着と健康・安全についての理解を深めるために健康教育の充実を図る。 ③オリパラ推進校としてオリパラの啓発、生徒の主体的な取組の充実を推進する。
<b>児童生徒指導</b> 担当 生徒指導部	①年3回(4・8・1月)の教育相談日を設定し生徒一人ひとりに寄り添った生徒指導に組織的に取り組む。 ②生徒指導研修会を複数回実施し「情報共有」「具体的な事例研究」を行い組織的な対応に努める。 ③誰もが気持ちよく生活するためのルールやマナーを守った集団生活・教育活動を推進する。
<b>特別支援教育</b> 担当 特別支援教育委員会	①特別支援委員会の定期開催と内容の充実を図り、支援を要する生徒に対する理解を深める。 ②ユニバーサルデザイン等みんなができる支援に関する研修を行い、職員の理解を深める。 ③特別支援教室(サポートルーム)の効果的な活用・運営について研修及び実践を推進する。
<b>キャリア教育</b> 担当 学習指導部・特活指導部	①職業講話(1年)、職場体験(2年)、進路学習(3年)等、将来を展望し、自らの生き方や進路を考える機会を設定し、課題発見・課題解決につながる取組を推進する。 ②様々な体験を通じて視野の広がりを感じることができる取組を推進する。
<b>地域連携</b> 担当 教務部・特活指導部	①学校家庭地域連携事業及び学校運営懇話会を協働本部とし、地域に根ざした学校改革を進め、学習ボランティアを募り、放課後等の学習支援事業の展開を推進するよう努める。 ②部活動の地域貢献活動、自主的なボランティアの機会を周知し、地域との連携を推進する。
<b>教育環境整備</b> 担当 環境美化・用務部	①特別支援教室(サポートルーム)、国際教室、少人数学習室等、安心・安全のための環境整備を行う。 ②校内の掲示物の工夫、防災を意識した環境整備等、生徒会や地域と連携した活動を推進する。 ③「おやじたちの会」と協働し、学校環境をよりよく改善できるよう広大な施設設備の整備・保全に努める。
<b>いじめへの対応</b> 担当 いじめ防止対策委員会	①年3回いじめ防止研修を行い、全教職員のいじめに対する感度を高くするとともに、生徒指導部と連携した教育相談や生活アンケートにより細かな変化を見逃さない体制をつくる。 ②月1回以上いじめ防止対策委員会を開催し、認知された案件の経過確認を丁寧に行うことで再発防止に努める。
<b>人材育成・組織運営(働き方改革)</b> 担当 教務部・連絡会	①ミドルリーダーを中心としながら自主研修を行い、経験の浅い教職員の育成を図る。 ②外部指導者を積極的に活用し研究授業、校内研修を意図的、計画的に実施し、教師力の向上を目指す。 ③全教職員で学校教育目標に沿ったより良い教育活動を検証・見直し・実行できる取組を推進する。 (働き方改革の視点も含む)